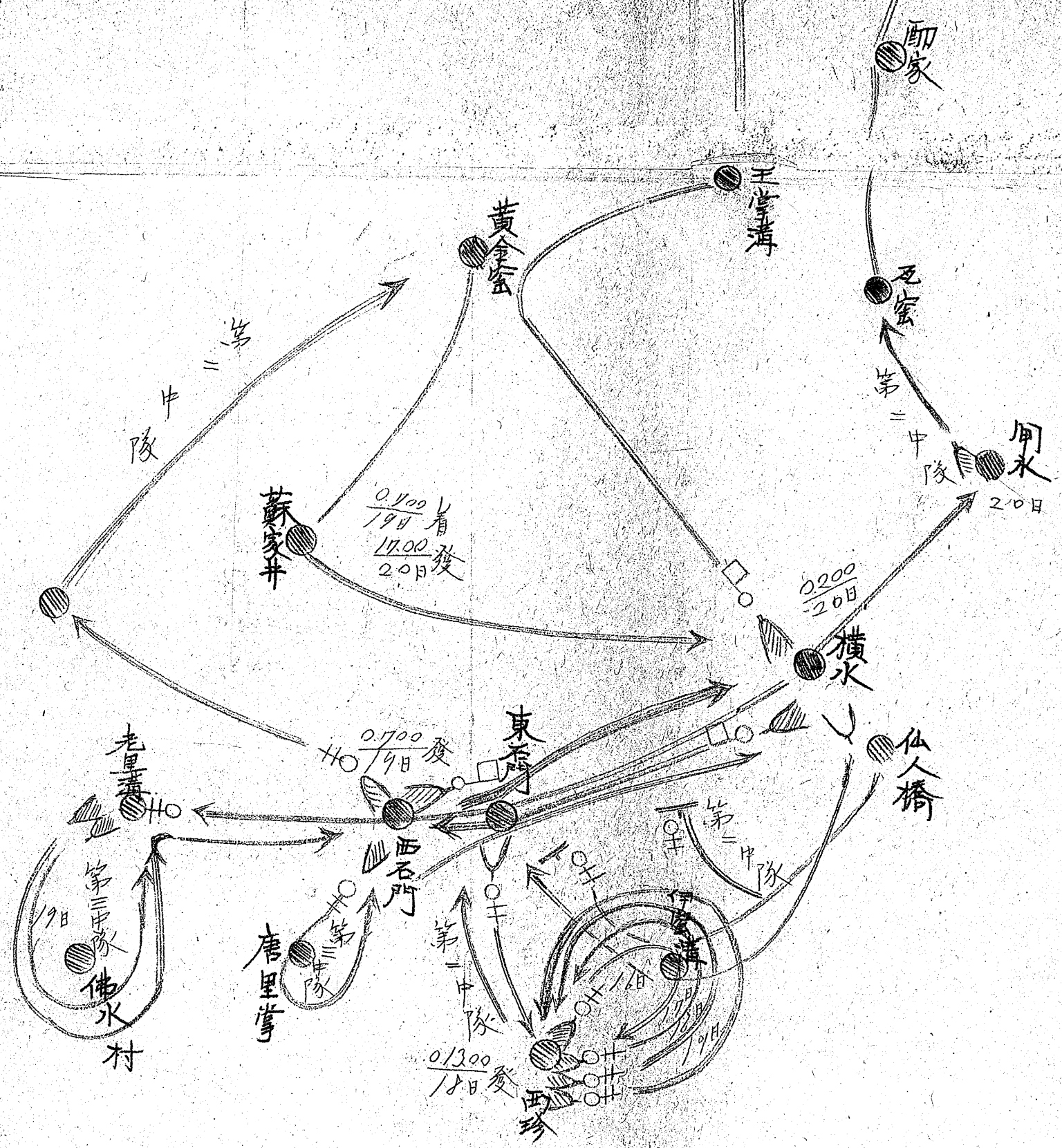


無劍帶銃同拳同小擲車	同同輕同水同迫馬捕	綜合戰果
線差彈彈彈筒	同同同同同同同同同	
機草草劍帶銃帶筒	同同同同同同同同同	
一 一 三 一 四 四 四 九	一 一 四 三 七 二 一 一 四 八	
手地小小擲同迫山電電鋸鐵真電無	榴 銃 筒 信 擊 砲 條 空 流 電	
彈雷藥 銃 彈 筒 彈 彈 彈 池 銀 鈹 管 計 機		
一 六 六 一 一 六 二 七 五 一	三 六 七 一 六 二 七 五 一	
二 三 三 五 五 七 四 箱 KM 六 一 一		

生	戰	我
死	死	方
一	二	損
		害



陸軍

第三中隊附 兵科見習士官 長谷川 勝藏

第四中隊附 兵科見習士官 本村 三朗

機關銃中隊附 兵科見習士官 澤田 善一

五日 第一中隊 陸軍一等兵 久下 誠一
以下二十一名

第十日 第一年度下士官候補者 陸軍軍曹 枋本 林藏
以下五名

任陸軍曹長 (七月三十一日附)
第二中隊 陸軍兵長 吉田 守
以下十五名

任陸軍伍長

(八月一日附)

陸軍計曹

陸軍計曹

淺田 藤雄

以下 二名

任陸軍計曹長

(八月一日附)

陸軍衛生兵長

汐山 敬造

任陸軍衛生伍長

獨立歩兵第十大隊附ヲ命ズ

(八月一日附)

十三日師團命令ニ基キ大隊本部ハ和順郊外串村ニ移駐ヲ開始ス

回顧スレバ昭和十四年九月七日和順ヨリ移駐以降滿四年間

將兵一同シ出テ回顧ニ歸リテ望ミシ懐シ都我等昔陽城ナ

リキ

十八日旅團長閣下福井地區巡視爲來和セシ遼縣ニ泊後

陽泉ニ歸還セシ

二十七日福井縣主催慰問團一行九名來和ス

陸軍

二十九日師團經理部長福井地區雜穀收買狀況視察爲來和ス

九月

一日

兵科乙種幹部候補生

福田 義雄

以下 十二名

現役滿期除隊ヲ命ズ

(八月三十一日附)

獨立歩兵第十大隊ニ臨時召集ヲ命ズ

(九月一日附)

任豫備役陸軍少曹

(九月一日附)

兵科乙種幹部候補生

吉田 庄太郎

以下 十名

現役滿期除隊ヲ命ズ

(八月三十一日附)

獨立歩兵第十大隊ニ臨時召集ヲ命ズ

(九月一日附)

任豫備役陸軍伍長

(九月一日附)

經理部乙種幹部候補生

幾井 一夫

現役滿期除隊ヲ命ズ

(八月三十一日附)

獨立歩兵第十大隊ニ臨時召集之命ス (九月一日附)
任豫備役主任隊長 (九月一日附)

八日昭和十八年度末教育補充兵 陸軍二等兵 池尾仁太郎以下
一三二名和順ニ到着ス

十日大隊ハ「號作戰参加」爲「號作戰計畫」基キ步兵ニケ中
隊其他ノ兵カラ抽出シ夫ニ旅團司令部喜多及一瀬部隊ニ隷屬
セシム

十二日十八日復大行作戰ニ於テ賞詞授與式ヲ舉行ス

故陸軍伍長大杉實以下八柱ノ合同慰靈祭ヲ衛兵所前廣
場ニ於テ施行ス

十三日部隊長職務連絡ニ爲一泊ノ豫定ヲ以テ陽泉ニ出張セリ
十五日

陸軍少尉 齊藤宗吉
兵科見習士官 森田 豊
同 錦織 均

陸軍

陸軍軍曹 水田勝治

以下 五名

北支特別警備隊ニ轉屬之命ス (九月二十日附)

陸軍中尉 濱岡作一

任陸軍大尉 (九月十五日附)

陸軍少尉 勝谷 博

同 木村直次

同 齊藤宗吉

同 中村啓一郎

同 前田善五郎

同 太田新吾

同 森本 優

任陸軍中尉 (九月十五日附)

十七日恩田討伐隊ハ石土作命第八。號ニ基キ十九日ヨリ約一週間

豫定ヲ以テ歩兵第六十四旅團主力ノ蟠龍鎮附近ノ作戰ニ呼
應シ遼縣南方地區ヲ討伐スバク和順ニ出發ス
部隊長藤作戰指導ニ爲遼縣ニ前進セシ

十月

三日部隊長殿ハ石作命申第七四號ニ基キ當分ノ閻陽泉ニ在リテ
獨立歩兵第十第四大隊地區ノ警備ニ任セシ

五日

陸軍伍長 河原林 秀夫

以下 百八名

陸軍機務隊第二五四號ニ依リ歩兵第九聯隊ニ轉屬ニ爲和順
出發ス

大隊ハ師團命令ニ基キ木村(直)集成中隊ヲ編成シ約一週間
豫定ヲ以テ孟縣黒石窪附近ノ肅正討伐ニ参加セシム

六日

陸軍大尉 濱岡 作一

陸軍

中部第甲工部隊ニ轉屬ヲ命ス

十日左記者ノ合同慰靈祭ヲ執行ス

故陸軍上等兵

橋

収

以下 二名

十六日靖國神社臨時大祭ニ當リ遙拝式ヲ舉行ス

二十日

兵科見習士官

鷹野 修一

以下 十九名

轉屬ニ爲和順出發夫々新驻地ニ向フ

三十日

陸軍中尉

中村 啓一郎

和 以下 四名

昭和十八年度第二次補充員受領ノ爲和順出發ス

十一月

一日

兵科見習士官

大橋 清辰

着任ス

二日大詔奉戴式後御下賜品授與式ヲ舉行ス

三日明治節ニ方リ遙拜式ヲ舉行ス

三九日

陸軍少尉

木田

一

兵科見習士官

澤田

善

一

昭和十八年度第三次教育學生下ニテ支那派遣軍歩兵教育隊ニ分遣ス命ス

三日

歩兵砲中隊

兵科見習士官

大橋

清辰

第二中隊

同

秦

司郎

第一中隊

同

岩前

圭悟

第五中隊

同

片山

茂

第四中隊

同

杉田

康人

第三中隊

同

大前

泰三

以下 七名

(編谷典・京東)

陸軍

同

同

上林

庄吉郎

第五中隊

同

中西

民部

第一中隊

同

岩根

正二

第四中隊

同

長谷川

勝藏

第二中隊

同

橋本

安次

機關銃中隊

同

大橋

榮一

第三中隊

同

澤田

善一

機關銃中隊

同

本村

三朗

第一中隊

同

丸山

英磨

満期除隊豫備役

任陸軍少尉

臨時召集ヲ命ス

獨立歩兵第六大隊附

頭書ノ隊附ヲ命ス

(十二月一日附)

十二月

陸軍中尉

金子

茂

任陸軍大尉

陸軍少尉

大井

正

獨歩兵第一大隊勤務ヲ命ス

(十二月三日附)

三日昭和十八年度第二次補充兵陸軍一等兵市村 衛 等 十三名和順到

着ス

八日陸軍大尉金子茂外十五名八昭和十八年度徵集現役兵及領ノ爲和順

出發内地ニ向フ

十七日左記者ノ合同慰靈祭ヲ執行ス

故陸軍兵長

下林

武夫

外

一柱

十三日大隊長作戰研究会出張ノ爲三泊ヲ以テ旅團司令部ニ出張ス

九月十日以降才号作戰ニ参加シ石太線以北地區ニ三月余ノ長期ニ亘リ

陸軍

轉戦セル岩瀬、堀兩集成中隊ハ赫々タル武勲ヲ収メ元氣旺盛裡ニ歸還夫々原駐地ニ復歸ス

二十九日

陸軍中尉

石川

政孝

補兵第百九聯隊附

(十二月二十九日附)

陸軍少尉

大井

正

補獨歩兵第士大隊附

(十二月二十九日附)